

作成日
2025年2月1日

CellMy inc.



児童発達支援 ミセル

MiSERU!!

トラブルや困難を乗り越え回復する力
～ レジリエンス療育 ～



会社概要



全ての声を聴き全てを魅せる 全てのWINのために

全ての声とは、会社の仲間、お客様、取引先、家族、友人、パートナーなど自分が関わる人全ての人の声を指します。その声をただ聞くのではなく、十の耳と目と心という字を使って形成されている聴くという字でしっかり聴き、そしてただ見せるのではなく、全てを魅力的に魅せる。CellMyの社名の由来は、物事を逆算思考で考えることを会社のベースにしたくて、「魅せる」という言葉を逆にして創った造語です。そして表面だけの魅力ではなく、Cell(細胞)+My(自分)とし、自分の細胞レベルで魅力を出して欲しいとの想いを込めてます。MISERUは私たちに关わるすべての人たちの声を聴き、それぞれが持つ可能性や魅力を引き出し、輝ける未来へと繋がるお手伝いをします。子どもやその保護者の方々にとっては安心できる場所であり、スタッフにとっては誇りを持って働ける環境を、地域の皆様には信頼と喜びを提供できる存在であり続けることを目指します。全ての人が「MISERUに出逢えて良かった」と心から感じられるよう、誠実な姿勢で未来を共に創り上げていくことをお約束します。



会社名	株式会社セルミー (CellMy Inc.)
設立	2020年(令和2年12月)
代表者	飯塚 秀徳
所在地	本社：埼玉県春日部市粕壁東2-3-39-2F 支社：青森県八戸市十三日町25-4F-5 事業所：埼玉県越谷市越谷レイクタウン8-11-1-402
事業内容	セールスレップ事業：営業戦略/営業支援/人材育成 ウェルフェア事業：児童発達支援/放課後等デイサービス
グループ会社	株式会社ラフイング 株式会社デキタ



児童発達支援の基本理念

障害児支援に携わる者は、全てのこどもに関わるこども施策の基本理念に加え、障害のあるこどもの育ちと個別のニーズを共に保障するため、次の基本理念を理解した上で、こどもや家族への支援、関係機関や地域との連携に当たっていくことが重要である（こども家庭庁：児童発達支援ガイドライン/令和6年7月より抜粋）

1

障害の特性を踏まえたニーズに応じた発達支援の提供

2

合理的配慮の提供

3

家族支援の提供

4

地域社会への参加・包摂(インクルージョン)の推進

5

事業所や関係機関と連携した切れの目のない支援の提供



MISERU!!のレジリエンス療育™



私たちMISERU!!が考える療育とは

私たち大人でも困難や強いストレス、トラブルに直面すると心が折れそうになることがあると思います。きっと子どもたちも、これから迎える未来において心が折れそうになることもあるでしょう。そこで私たちは、困難や強いストレス、トラブルに直面したときに適応する柔軟性と、再起力、立ち直すチカラを表す概念として提唱されている『レジリエンス』に注目し、物事が思い通りにいかず落ち込んだときにレジリエンスを機能させ、気持ちを切り替えてやり直そうという意欲『折れない心』を育てていきます。

レジリエンスこそ早期療育に必要なアプローチ

立ち直すチカラやストレスに向き合う心の弾性は本来誰もが生まれながらもっている心理的資源です。ところが日常のストレスや失敗体験などを、レジリエンスを高めるチャンスとして活かすことができず、むしろ消耗させてしまっている人がほとんどです。日々の生活の中でレジリエンスを意識的に高める努力をしなければ、困難な状況に直面したときにチカラを発揮できません。そのためレジリエンスが高い幼児期にこそ親子でレジリエンス療育を学び、試練に満ちた現代社会を前向きに進んでほしいと私たちは願っています。



レジリエンス療育™の第一人者



明星大学 心理学部心理学科 教授 竹内康二

専門分野：障害児心理学/応用行動分析学

資格：公認心理師・臨床心理士

学位：筑波大学心身障害学研究科 心身障害学専攻 博士課程終了 博士

主な著書：

- 箇条書きでわかりやすい発達支援のヒント36の目標と171の手立て(揺籃社出版)
- めんどくさがるの自分を予定通りに動かす科学的方法(ワニブックス出版)



私たちMISERU!!では『レジリエンス療育™』の第一人者である明星大学/心理学部教授の竹内康二氏を顧問として迎え入れ、今までにない新しい支援を提供しています。

竹内氏は障害児心理学と、応用行動分析学の分野で豊富な経験と深い知見を持つエキスパートで、明星大学心理学部心理学科で教授として教鞭を執りながら、子どもたちの成長や発達を支える方法論について研究・実践を重ねております。

MISERU!!では竹内氏が監修した療育プログラムを導入し、子どもたちが自らのチカラを伸ばし、困難に立ち向かうチカラを育む支援を行っております。さらに保護者様には竹内氏自ら『MISERU!!ゼミ』を開催し、家庭での支援方法について具体的なアドバイスや考え方を提供しています。

また、児童に携わるMISERU!!職員に対してもレジリエンス療育や応用行動分析学について研修を実施し、職員の専門性を高める取り組みを行っています。



サービス内容(本人支援)

【支援内容】

健康・生活

手洗い、うがい、トイレの使い方、着替えなどの実践練習。水分補給の時間の提供。検温チェックの実施。準備/片付けの機会の提供などのプログラムの実施

運動・感覚

たつ、すわる、あるく、はしる、はねるなどの全身を使う粗大運動に関するプログラムの実施。つかむ、はる、はめる、つまむ、ひねる、ひっぱるなどの微細運動に関するプログラムの実施。5感（触覚、視覚、聴覚、味覚、嗅覚）、固有受容覚（関節や筋肉の動き・位置を感じ取り、体の動きを調整する感覚）、前庭覚（頭の位置や動きを感知し、バランスや重力に適応する感覚）に関するプログラムの実施

認知・行動

数、時間、感情、位置、比較、色、身体部位、計画などに関するプログラムの実施

言語・コミュニケーション

発声、気持ちの表現、ジェスチャー、選択肢、譲歩、読み聞かせなどの集団プログラムの実施

人間関係・社会性

挨拶、礼儀、協力活動、ルールに関する集団プログラムの実施

上記各種支援にレジリエンス療育を織り交ぜてご提供します

- 営業日 : 月曜日～金曜日
土・日・祝祭日に開所する場合は、事前に保護者様へご連絡いたします
- 休業日 : 年末年始
- 営業時間 : 平日 10時00分～19時00分
- 送迎有無 : 無
ただし近隣の幼稚園や保育園へ自動車を利用しない送迎はおこなっています





サービス内容(その他支援)

家族支援：

- 定期的な保護者面談の実施
- ご家族に支援場面の観察や参加等の機会を提供し、支援のねらいや相談援助の実施
- 竹内教授によるMISERUゼミの実施
(週3回以上利用のご家庭優先)

移行支援：

- 希望のご家庭にグループ店舗（放課後等デイサービスDEKITA!! 埼玉県内11拠点展開中）の紹介
- 必要に応じて就学予定の小学校にお子様の情報を伝えて連携

地域支援・地域連携：

- 他通所支援事業所、相談支援事業所、関係機関などとの交流や情報交換の実施

職員の質の向上：

- 最低年2回以上の内部研修の実施
- 大学教授や専門家等の外部講師による研修の実施
- 児童発達支援管理責任者などの各種資格取得支援

主な行事等：

- 季節イベントの実施（初詣、節分、ひな祭り、お花見、七夕、夏祭り、ハロウィン、クリスマス）

- 営業日 : 月曜日～金曜日
土・日・祝祭日に開所する場合は、事前に保護者様へご連絡いたします
- 休業日 : 年末年始
- 営業時間 : 平日 10時00分～19時00分
- 送迎有無 : 無
ただし近隣の幼稚園や保育園へ自動車を利用しない送迎はおこなっています





MISERU!!の強み

レジリエンスを高めるために手に入れて欲しいことば達

子どもの心理的課題

	感覚の特徴を知る	様態状況に対応する	人から認められる	やりたいことを実現する	不安と向き合う
気持ちの表現	 「気持ちいい・気持ち悪い」	 「のめたい、きこうけしたい」	 「みたくしたい、きこうけしたい」	 「やりたいことを実現する」	 「うまくできなかもしれない」
日常の充実	 「いそいそとやらせたい」	 「どうやらやらせたい」	 「いそいそとやらせたい」	 「いそいそとやらせたい」	 「いそいそとやらせたい」
環境の調整	 「これかあれはなんでもか」	 「これかあれはなんでもか」	 「これかあれはなんでもか」	 「これかあれはなんでもか」	 「これかあれはなんでもか」
柔軟な対応	 「これかあれはなんでもか」	 「これかあれはなんでもか」	 「これかあれはなんでもか」	 「これかあれはなんでもか」	 「これかあれはなんでもか」
自己評価	 「これかあれはなんでもか」	 「これかあれはなんでもか」	 「これかあれはなんでもか」	 「これかあれはなんでもか」	 「これかあれはなんでもか」

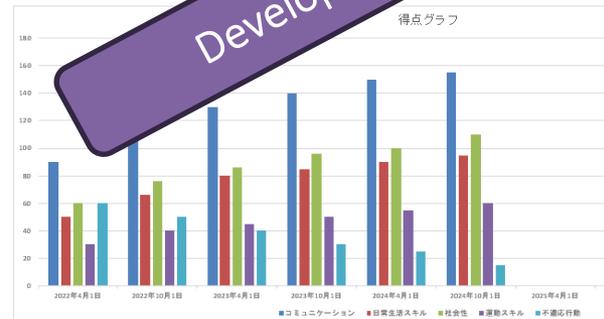


オリジナルの内的言語を手に入れるマトリクス(開発中)

感情を言語化し、肯定するメッセージを自分自身に向けて送ること
でストレスに対する耐性を高めます。例えば「失敗しても大丈夫」「次
はうまくやれる」といった自己への励ましの言葉は困難な状況でも前向
きな心を保つ助けとなります。このような自己対話の積み重ねが自尊
感情を育て、困難を乗り越えるチカラを強化します。

しかし、万人に共通する自己への励ましの言葉はありません。そこで
私たちは子どもたち一人ひとりの動作特性や考えから、その子に合
う励ましの言葉 = 内的言語を探す、育てる、増やすことを普通の遊び
や、生活訓練の中でおこなっていきます。子どもが心の中の言葉
を使って考えたり、感情や思考を整理したりするチカラを育む手伝いをこ
のマトリクスを使いながらおこないます。

評価日	2022年4月1日	2022年10月1日	2023年4月1日	2023年10月1日	2024年4月1日	2024年10月1日	2025年4月1日
コミュニケーション	90	110	130	140	150	155	
日常生活スキル	50	66	80	85	90		
社会性	60	75	86	96			
運動スキル	30	40	46				
不適応行動	60	50				15	



オリジナルのアセスメントによる成長の見える化(開発中)

MISERU!!では、明星大学心理学部教授の竹内氏作成のオリジ
ナルアセスメントシートを使用し、子どもの日常生活における適応行
動の水準を客観的に数値化します。(希望者のみ)

数値化することで、子どもの適切な支援計画の策定や支援効果の
評価ができます。(コミュニケーション/日常生活/社会性/運動スキル/
不適応行動)



DEKITA!!との連携

MISERU!!ではご希望のご家庭に対し同グループの
放課後等デイサービスDEKITA!!
との連携や移行支援もおこなっております



DEKITA!!

放課後等デイサービス

コミュニケーション療育



MISERU!!

児童発達支援

レジリエンス療育



外的言語と内的言語

DEKITA!!(放課後等デイサービス)で行っている療育はコミュニケーション療育です。これは子ども同士のコミュニケーションを戦略的に発生させ、言葉やジェスチャーで自分の考えや気持ちを他人に**外的言語**として伝えられるようにする療育です。

一方MISERU!!(児童発達支援)では心の中で自分の気持ちや考えを整理し、困難に対処する力を養うレジリエンス療育になります。日常の中で失敗や困難なことがあっても子どもの様々な行動から必然的にレジリエンスを高めていくアプローチし、前向きに気持ちを切り替えられる**内的言語**を見つけ、育てます。

コミュニケーション療育(外的言語)と、レジリエンス療育(内的言語)はどちらも補完し合う重要な要素です。外的言語で他者とつながり、内的言語で自己を整える力を養うことで、子どもたちは困難な状況でも前向きに対応できるようになります。



ご利用までの流れとご利用料金

01

お問合せ

お気軽にお電話やメール等でお問合せください。ご都合にあわせて面談の日程を設定させていただきます。保護者さまのみ、お子様とご一緒のどちらでもかまいません

02

見学/体験

MISERU!!のサービス内容や、実際の支援の様子などをご見学いただけます。お子様とご一緒の場合、無料で体験もできます

03

受給者証

MISERU!!のご利用契約を希望される方はお住まいの役所にて、福祉サービス受給者証の発行が必要になります。

04

ご契約

お子様の様子や、ご家族のご利用希望曜日などを伺い、ご利用開始日を確認します。重要事項のご説明のうえ、ご利用の契約を締結します。

05

利用開始

お子様の支援計画に基づき支援プログラムを実施します

ご利用料金

高所得のご家庭を除いて、1ヶ月あたり0円、もしくは4,600円が上限です。

※幼児教育無償化により、満3才になって初めての4月から就学までの3年間は利用者負担が0円です。

世帯所得：生活保護・非課税世帯 負担上限額：0円

世帯所得：概ね890万円まで 負担上限額：4,600円

世帯所得：概ね890万円以上 負担上限額：37,200円



事業所のご案内

MiSERU!!

越谷レイクタウン

JR武蔵野線/越谷レイクタウン駅/南口徒歩0分



お問い合わせ



DeKiTa!!

北越谷

東武スカイツリーライン/北越谷駅/西口徒歩3分

越谷

東武スカイツリーライン/越谷駅/東口徒歩9分

越谷レイクタウン

JR武蔵野線/越谷レイクタウン駅/南口徒歩1分

春日部

東武スカイツリーライン/春日部駅/東口徒歩6分

川越高階

東武東上線線/新河岸駅/西口徒歩12分

東川口

JR武蔵野線/東川口駅/南口徒歩5分

草加

東武スカイツリーライン/草加駅/西口徒歩3分

北浦和

JR京浜東北線/北浦和駅/西口徒歩2分

吉川

JR武蔵野線/吉川駅/南口徒歩1分

吉川²

JR武蔵野線/吉川駅/北口徒歩1分

蕨

JR京浜東北線/蕨駅/東口徒歩7分

お問い合わせ

